

週刊

通販新聞

発行所
株式会社 通販新聞社

ネット販売を物流面から支援

商物一体型の倉庫を提案

物流拠点を収益センターに

そのため、自社物件にこだわらない幅広い倉庫のネットワークを活用して通販企業に合致した倉庫を提供できるのが強みだ。倉庫を提案する際は、商品の種類に応じて、入荷、検品、保管、ピッキング、出荷など一連の庫内業務を行える物流企業を紹介する。

倉庫の仲介やコンサルティングが主力のイーソーコ(本社・東京都港区、遠藤文社長)は、中小のネット販売企業をメインターゲットに倉庫のトータルコーディネート業務を開始する。首都圏を中心に空き倉庫を仲介するだけでなく、倉庫空間を有効活用した事務所スペースや撮影スタジオの設置など、通販企業のニーズに柔軟に対応する。通販に必要な物流業務もアウトソーシングしてもらうことで、物流品質の向上とコスト削減につなげるといふ。

イーソーコ

同社は、日本最大級の空き倉庫情報のネット検索サービス「e-sokko.com(イーソーコ・ドットコム)」を運営している。

都心部の空き倉庫に目をつけ、物流面からネット販売企業のサポートに乗り出すという。具体的には、「商物一体型」の倉庫活用を提案。小規模企業の利用も想定し、庫内に複数企業の事務所を設置することもできる。また、都内という立地を最大限に活用して、消

費者が直接、商品を購入できる展示スペースを設置するなどのバリエーションをもたせる。オフィスと倉庫機能、アパレル商材などを撮影するスタジオや商品の展示スペースを一カ所に集め、物流拠点を従来のコストセンターから、「利益を生み出すプロフィットセンター」に転換できる(大谷廠一副社長)とする。

イーソーコでは現在、一都三県では約五千五百件の倉庫情報を保有。取り扱い商材や出荷件数などによって最適な倉庫を紹介し、ネット販売企業の成長をバックアップする。

同社は倉庫会社ではな